

維持血液透析患者に対するリン含有食品添加物（リン酸塩）と 乳製品制限の教育効果

長崎腎病院

○山下万紀子 川口唯 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

【目的】

当院では「良好な栄養状態を保ちながら無理なく血清リン値を適正化する」ことを目的に2014年にリンコントロールチームを結成し、患者指導を実践している。今回、現在までの血清リン値適正化の取り組みを報告する。

【対象】

外来透析患者 302 名（男 194 名、女 108 名、平均年齢 68.0 ± 12.2 歳、平均透析歴 7.8 ± 8.2 年）【方法】食品添加物であるリン酸塩およびリンの吸収率が高い乳製品に限定した資料やポスターを用いた栄養指導を継続した。

【結果】

血清リン値は 5.4 ± 1.4 から 5.1 ± 1.3 へ有意に低下した ($P < 0.05$)。血清 Alb 値や GNRI は、有意差は認められないものの上昇傾向であり良好な状態を維持していた。

【考察】

リン酸塩と乳製品に限定した栄養指導は、透析患者に推奨されない食品や商品を明確化することにより、患者に具体的な知識が根付き、「血清リン値のみを低下させその他の栄養状態は維持する」理想的な栄養指導法の 1 つになりうる可能性が示唆された。